

二級建築士専攻科 学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | | 専門士 | 高度専門士 |
|--------|----|-----------------------|----------|-------------|--------|--------|
| 工業関係 | | 工業関係専門課程 | 二級建築士専攻科 | | - | - |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | | 開設している授業の種類 | | |
| | | | | 講義 | 演習 | 実習 |
| 1年 | 昼 | 1020 単位時間／単位 | | 0 時間 | 590 時間 | 430 時間 |
| | | | | 0 時間 | 0 時間 | 0 時間 |
| | | 1020 時間 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
| 20人 | | 13人 | 0人 | 2人 | 3人 | 5人 |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| (概要) 二級建築士専攻科 二級建築士及び木造建築士の受験資格を有する者を対象に、国家資格の二級建築士に必要な知識と技術を身につけた人材の育成を目指しており、それぞれの授業すべてにおいて、年間のシラバス及びコマシラバスを作成し実施している。一コマは50分。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) 成績評価の基準はグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「G P A」という。）制度による評価について必要な事項を定め、透明性のある成績評価を行っている。 G P Aは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。 (式1) G P A = $\frac{(G P \times 時間数) の総和}{履修科目の総時間数}$ |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 当校における卒業及び進級の認定は進級・卒業審査で行っている。この審査では担任が予め作成した個人ごとの評価資料（定期試験結果、出席、資格の取得状況、卒業・修了作品の評価、学費の納入状況等）を基に進級及び卒業の要件に照らし合わせ、それぞれの評価項目で基準に達していることを条件に認定を行っている。 また、進級及び卒業要件は「学生の手引き」に記載しており年度初めに学生に公表している。 |

学修支援等

入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明

龍馬学園就職支援部と協力した就職指導

個別面談で学生の状況を把握（場合によっては保護者も交える）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---------------|------------|-------------------|---------------|
| 11人 (100%) | 0人 (0%) | 8人 (72.7%) | 3人 (27.3%) |

（主な就職、業界等）

建築設計事務所、ハウスメーカー、工務店 等

（就職指導内容）

クラス担任、就職専任スタッフ、産業カウンセラーによる トリプルサポート体制で、学生アンケートをもとに、きめ細かな就職指導の体制を取るとともに、県内・外の様々な企業を招いて、龍馬学園単独の「企業セミナー」を開催するなど、総合専門学校ならではの、スケールメリットを活かして、学生たちの就職をサポートしている。

（主な学修成果（資格・検定等））

二級建築士

建築 CAD 検定 2 級

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
|----------|----------------|-------|
| 13人 | 2人 | 15.4% |

（中途退学の主な理由）

進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）

個人面談又は三者面談を行い学生の状況把握に努める。また、気になる学生については教職員間の情報交換や報告をスピーディーに行なっている。